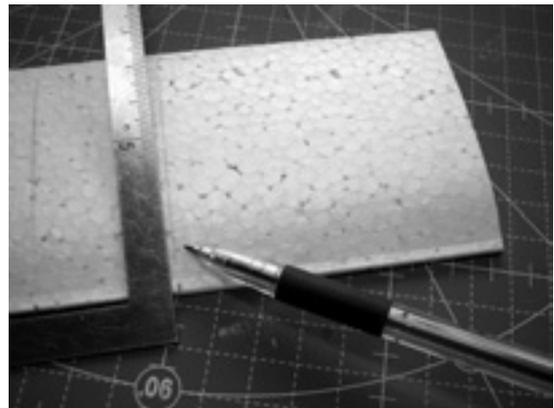
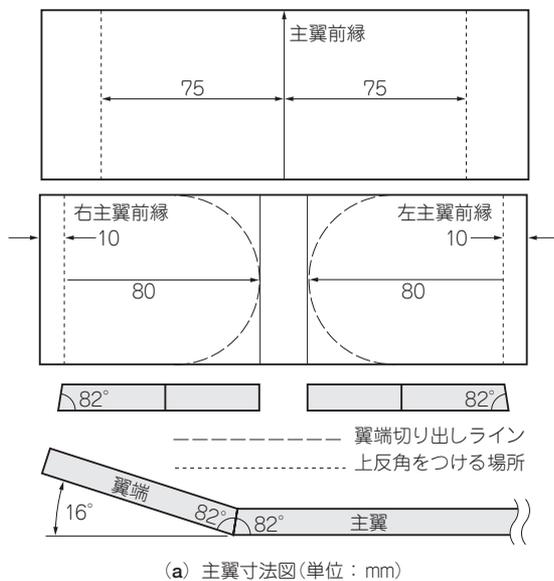


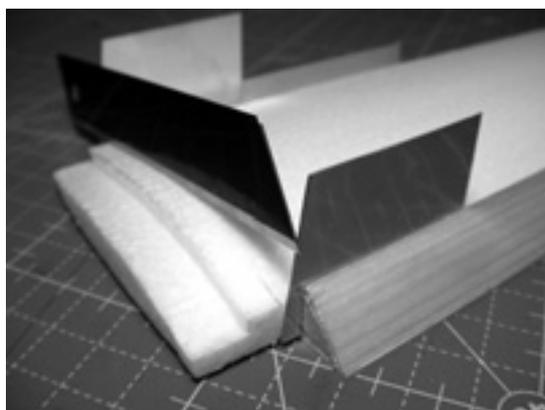
ゲージに沿って滑らしていくときに、引っかかりがないようにサンドペーパー400番をかけて、断面を滑らかにしておきます。

● **ゲージを使った発泡スチロールの切り出し**

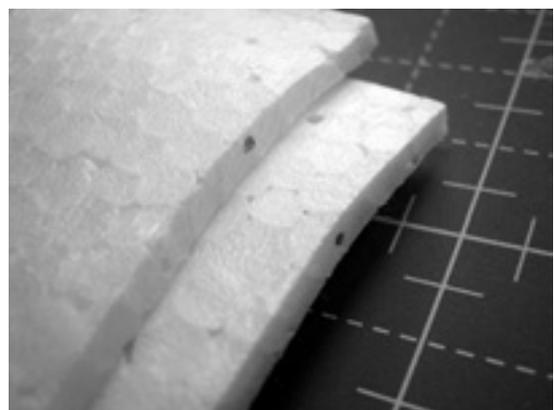
切り出したプラバンのゲージを使い、機体の各部品をハンド・スチロール・カッター(第5章参照)で切り出します。写真10-4に示すように、まず、水平尾翼から切り出していきます。切り出した発泡スチロール薄板3mm厚に水平尾翼のゲージを乗せ、切り出し中にゲージがずれてしまったときに最初にゲージを乗せた位置がわかりやすいように、ゲージ外周と水平尾翼中心線をボールペンでトレースします。プラバン・ゲージとスチロール板を指でしっかり挟み、ハンド・スチロール・カッターで切っていきます。このとき切るのは水平尾翼の外周のみで、水平尾翼中心線は切らずにおきます。



(b) 主翼に寸法線を書き入れる。スコヤを使うと楽に線が引ける

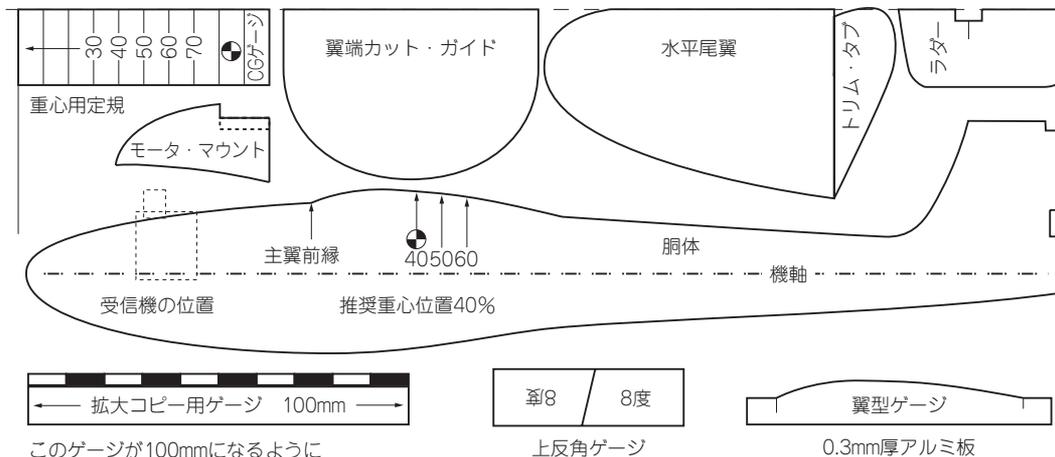


(c) 主翼に上反角をつける。カッター・ナイフの刃だけを使う



(d) 上反角をつけた主翼断面。上反角をつけた個所には必ず印を付ける

図10-3 主翼の加工



このゲージが100mmになるように
拡大コピーする

上反角ゲージ

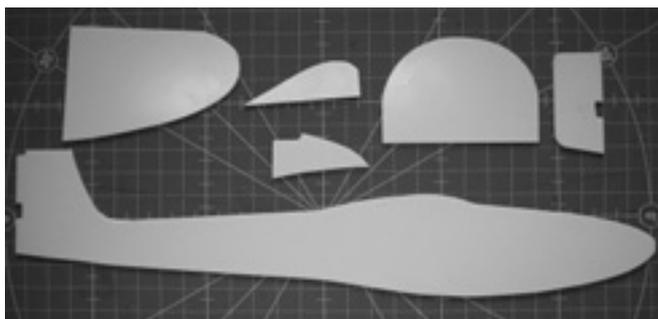
翼型ゲージ
0.3mm厚アルミ板

図10-4 切り出し用図(50%縮小)

2倍に拡大コピーする。原寸図はサポートWebからダウンロードできる。

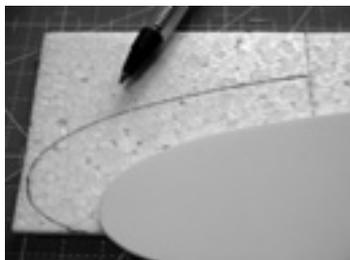


(a) プラバンは、切れ目を入れて折ると、あっさり折り取れる



(b) 切り出したプラバン製のゲージ

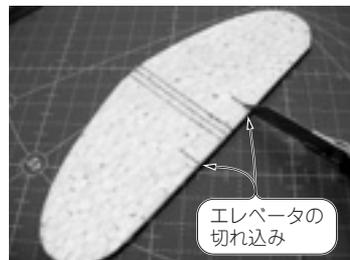
写真10-3 プラバンのゲージ作成



(a) 切る前にボールペンでゲージの外周をトレースする



(b) 水平尾翼の切り出し。止まらずに切る。引っかかったときはニクロム線を外側に逃がす



(c) 水平尾翼を加工する。平行線を必ず入れておく

写真10-4 水平尾翼の加工



写真10-5 胴体の切り出し
無理してプラバン・ゲージ外周全部を一度に切らない。

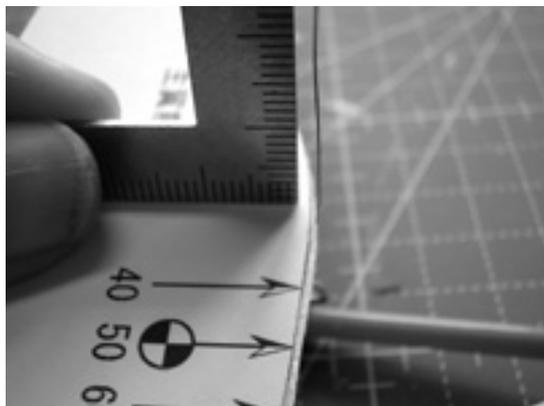


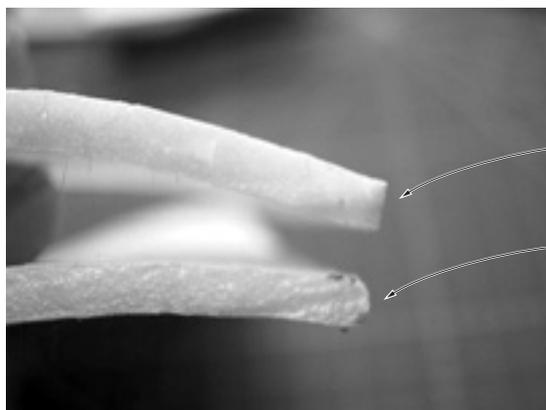
写真10-6 ニクロム線の向きに注意する
ニクロム線が垂直になるように、意識しながら切る。



写真10-7 翼端を切り出し、整形する



写真10-8 発泡スチロール製の機体パーツ
一度切り出し型を作っておくと再製作が早い。



加工前

サンドペーパー
をかけた

写真10-9 主翼断面の加工
接着個所以外の角を丸める。